

8月19日(金)に医療講演会④を オンラインで開催しました。

8月4日(木)の緩和ケアに関する講演会につづき、8月19日(金)に本校社会科教室でがんについての医師からの講義と、がん緩和ケアについての看護師からの講演会が二部構成で開催されました。感染症拡大の最中でもあり、昨年度に引き続いて Zoom によるオンラインでの開催となりました。講師は、新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター医師の松本吉史先生、新潟医療センター緩和ケア病棟緩和ケア認定看護師の阿部梓先生のお二人をお願いいたしました。医療が逼迫する状況の中で、お忙しい時間を割いて生徒たちに御講演くださいました先生方には感謝申し上げます。当日は医療専攻生11名と聴講生1名が参加し、がんという病気とその治療法、緩和ケアの理念と看護師の役割などについて学びを深めました。

第一部開始



校長による講師紹介



がん治療法の1つ 抗癌剤による化学療法

殺細胞薬

- 増殖の速い細胞を狙って薬剤によって全部を攻撃する治療
正常細胞のなかでも増殖の速い細胞はダメージを受けてしまう

効果 > 副作用であれば治療薬 効果 < 副作用であれば毒薬
殺細胞薬は効果 = 副作用
正常細胞でも増殖の速い細胞 = 髪の毛、粘膜、爪、骨髄



抗癌剤と言われてなんとなくイメージが浮かぶ？吐き気や脱毛、倦怠感

緩和ケアとは

WHO 緩和ケアの定義 (2002年)

緩和ケアとは…

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOLを、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである。

緩和ケア関連18団体 共同訳



質疑応答





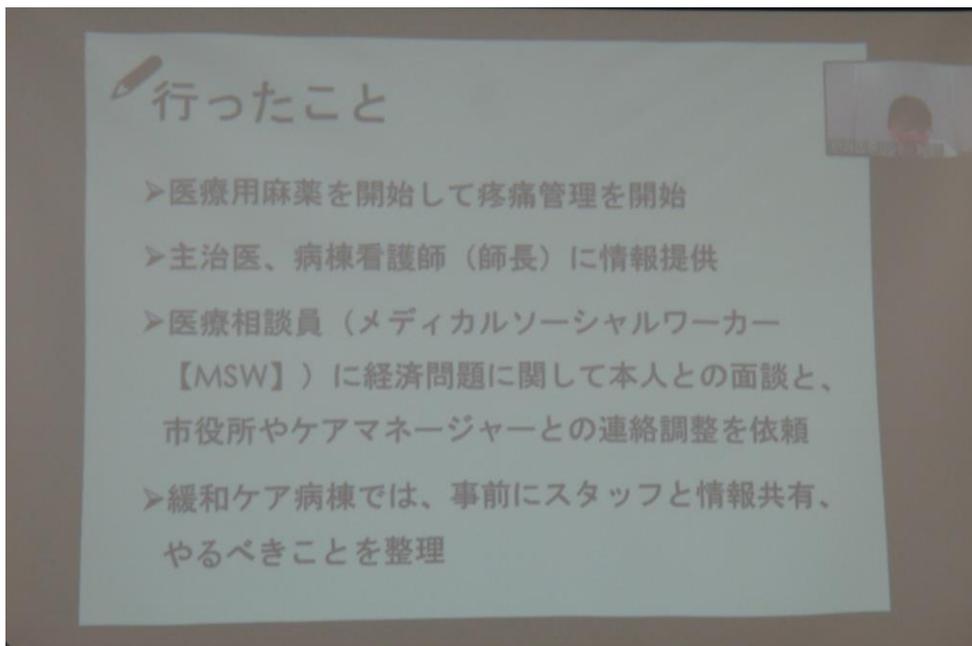
第一部終了

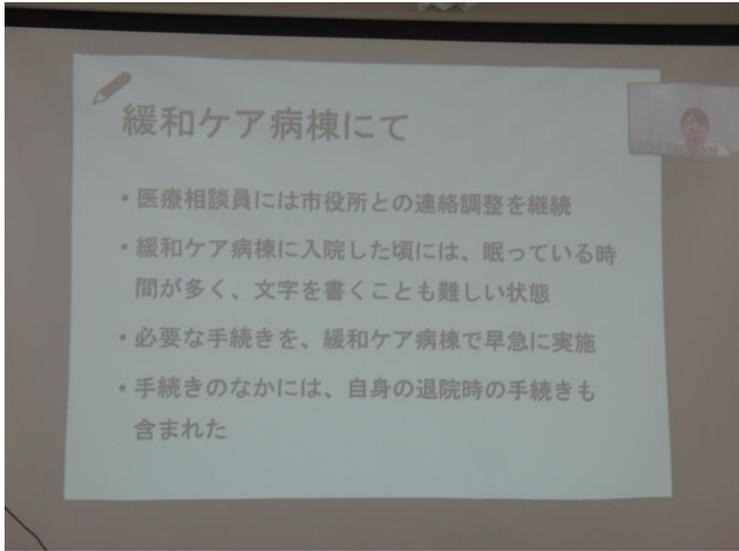


引き続き
第二部



緩和ケア病棟から





質疑



生徒代表お礼の言葉



第二部終了

ありがとう
ございました